

元気企業  
訪問

狩場一酒造  
株式会社

# 半歩ずつ堅実に 地域に根差した 酒造りで コロナ禍でも成長

## 直売のメリットを生かす

酒蔵に併設された直売所には、酒を買い求める客が引きも切らずにやって来ます。「うちはネットも含め直売が95%を占めています」と4代目の狩場一龍社長。外販分も地元の土産物店向けとのことで、地元の人にいかに愛されているかがよく分かります。20種類のラインアップのうち温度変化に弱い生酒が半数近くを占めているのも、「目の行き届いた所でお酒を直接管理できる直売だからこそ」。さらに直売は客の財布にも優しいというメリットがあります。店頭に並ぶ300mlの商品の値札には「持ち帰りの場合、200円引き」と書かれています。

同社がある丹波篠山市は丹波杜氏発祥の地。創業者も灘をはじめ大

手蔵に出向いていた杜氏でした。出稼ぎに行くよりも、自分で酒造りをしようと地元で始めたのが起こりです。同じようなケースは他にもあったようですが、硬水の灘と同じ酒造りをしたために失敗しつぶれていった蔵も多い中、「曾祖父は全国の蔵に指導に出向くほどの技術者だったため、篠山に湧き出る軟水の酒造りも心得ていたそうです」。

造った酒は全量を灘の大手蔵に売っていましたが、昭和30年代に自社ブランド「<sup>しゅうげつ</sup>秀月」を立ち上げました。当初は地元の50人ほどで愛飲会が組織され、飲食店で「秀月を楽しむ会」を定期的に開いていたそうです。「そこで得たお客さんの声を商品づくりに反映してきました」。日本酒度も当初のマイナス3から今ではプラス1へと辛口度

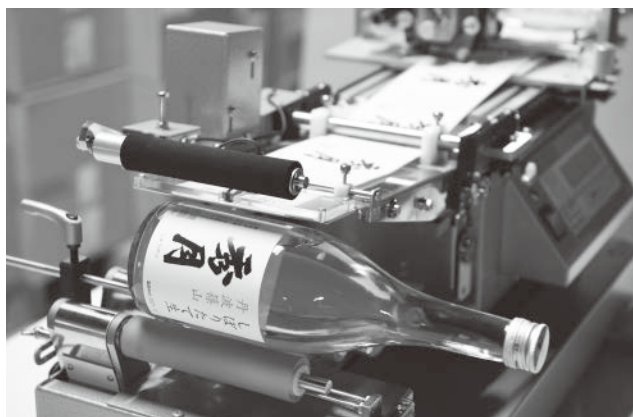
た顧客リストは今では6,000人ほどに増えています。

また、酒米作りも1996年から始めました。当時は山田錦が手に入りにくいこともあり、「安定的に確保できるように」との狙いがあったそうで、現在も「米の良しあしの判断、その年の出来具合も把握できる」ことから米作りを続けており、全量の10%を自社米で賄っています。

## 迅速な決定かつ低金利が魅力

同社は30年以上前に初めてひょうご産業活性化センターの設備貸与制度を活用して、自動洗瓶機を導入しました。地元の購入者が多いことから回収率が高く、洗瓶機はいつもフル稼働状態です。その他にも同制度を活用して蒸気ボイラー、チラー（冷却水循環装置）、自動洗米装置などを次々に導入していきましました。

「設備投資をする場合は銀行に融資をお願いしてそれが決まってから購入するので、どうしても時間がかかってしまいます。最近は担当者との信頼関係も築けており、より迅速に利用できることにも助けられています。何より金利が安いことがありがたい」と制度活用のメリットを語ります。



新たに導入したラベル貼り機

が増えています。精米歩合も当初の74%から70%、65%、そして現在の60%まで低く、「そのたびにおいしいと言われるお客さんが増え、手応えを得てきました」。50人から広がっ

2020年初頭からのコロナ禍で酒造業界は大きな苦境に陥りましたが、直売が多くを占める同社にとっては家飲み需要が増え、むしろ追い風になった

といいます。手軽に家でも飲めるよう昨年は300ml商品のラインアップを増やしたところ好評で、新たにラベル貼り機を購入。自動洗瓶機も31年ぶりに更

新しました。「これからも半歩ずつ歩みを進めていきたい」と狩場社長。堅実さを強みに、着実に「秀月」ブランドを育てていきます。

会社概要  
狩場一酒造株式会社

所在地 丹波篠山市波賀野500  
代表取締役 狩場一龍

事業内容 日本酒の製造・販売  
TEL 079-595-0040

## 支援メニュー講座

## 設備貸与制度

# 設備の増設や更新により経営基盤を強化

### 制度概要

設備の増強・更新を図ろうとする中小企業者に代わって当センターが設備を購入し、中小企業に長期（10年以内）かつ固定金利（年率0.70～1.95％）で割賦販売またはリースするものです。2016年度から10％の保証金が原則不要となりました。

### メリット

最大のメリットは、金融機関の借り入れ枠や信用保証協会の保証枠とは別枠で利用できることです。また、設備貸与制度のみならず、当センターは曜日ごとに中小企業診断士等の専門家による無料の窓口相談を随時受け付けています。さらに当センターは中小企業支援機関との連携により県内企業を支援する「中小企業支援ネットひょうご」を活用し、経営、技術、情報などさまざまなサポート体制が構築されていますので、制度利用後のフォローアップを含めた手厚いサポートがあるのも特長です。

設備の更新、新規導入、省エネへの取り組みをご検討されている方はぜひ設備貸与制度の利用をご検討ください。

問い合わせは ひょうご産業活性化センター設備投資支援室 TEL 078-977-9086

伝えたい思い出を  
最高のカタチに

写真集・詩集・自費出版のお問い合わせは

神戸新聞総合印刷 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7  
神戸新聞総合出版センター TEL 078(362)7143  
http://www.kobenp-printing.co.jp/